

## 第1回倫理委員会議事録

日 時：令和7年6月13日（金）午後4時00分 開会

場 所：短大部会議室

出席者：稲垣倫理委員会委員長、内海教授、相原准教授、丸山教授（健康科学部）

中村准教授（歯学部）、佐藤（中日本興業倶楽部事務局長）

渡邊（記録）、辻（記録）

欠席者：田中教授（社会連携センター）

稲垣委員長が議長となり、下記のとおり議事進行が行われた。

### 【審議事項】

#### 1. 倫理審査

申請11題が修正後承認の審査結果であった。

〔主な審議指摘内容〕

○全体にわたって次のことを統一することとした。

英数字は半角、かっこは全角、年月日は西暦、虫歯と歯茎は「う蝕（虫歯）」「歯肉（歯茎）」と明記、参考文献の記載は短大紀要の規定に従って修正。

○受付番号25-002

・稲垣教授より、愛知県にいる薬剤師のうちの何%が研究の対象になるのか。他県における同様の研究はあるのかについて質問があり、愛知県薬剤師会のほとんどが対象となり、他県においては同様の研究が実施されていない旨、述べられた。

・丸山教授より、喫煙している薬剤師に対しても、本調査を行うのか質問があり、薬局薬剤師の内、喫煙のあるものは禁煙サポート薬剤師として勤務していない旨、述べられた。

・佐藤事務局長より、質問票12、16で「ください、下さい」の表記が統一されていないことについて指摘があり、統一することとした。

○受付番号25-003

・丸山教授より、場所、対象者が産業医科大学であることから、産業医科大学での倫理委員会を申請する必要性がある旨指摘され、本倫理委員会での承認後、産業医科大学の倫理委員会に申請する予定である旨、述べられた。また、喫煙が侵襲伴う行為であることの指摘があり、予測される資料等提供者に対する危険・不利益に記載する旨、述べられた。

○受付番号25-004

・承認番号24-004の継続課題であり、実施分担者と個人情報管理者が変更点として述べられた。

・稲垣教授より、若年者における同様の研究があるのか質問があった。

・丸山教授より、対象が学生であることから、強制でない旨を強く配慮する文言を追加するよう指摘があり、説明文書に追加することとした。

○受付番号25-005

- ・稲垣教授より、対象者の想定される人数について質問があり、500名程度と述べられた。
- ・マウステーピングによるネガティブな影響があるかどうか質問があり、口全体を覆うことによる鼓膜の損傷、認知機能低下、5歳以下の子どもによる誤飲が述べられた。その結果、そのリスクについて、申請書類に記載することとした。
- ・丸山教授より、実施責任者、申請者に資格の制限がないかを稲垣教授に質問し、本倫理委員会では申請者に資格の制限ない旨、述べられた。また、未成年者や、認知機能低下のある者を対象者に含む場合は、インフォームドアセントを実施する必要性について指摘され、インフォームドアセントについて記載することとした。
- ・内海教授より、誤飲のリスクが5歳以下ということについて何か根拠はあるのか質問があった。

○受付番号25-006

- ・稲垣教授より、実施分担者の欄に、専攻科学生の名前を記載するよう指摘があった。また、エナジードリンクの定義について質問があり、定義される言葉ではないことから、課題名のエナジードリンクを高濃度カフェイン含有清涼飲料水と表記を変更することとした。
- ・丸山教授より、エナジードリンクの定義について質問票に記載する旨指摘があり、質問票の最初にエナジードリンクとして一般的に認知されている製品を記載することとした。
- ・相原准教授より、カフェインを含有する製品が様々ある中、なぜエナジードリンクに限定したのか質問があり、カフェインの含有量が他と比較して多い旨、述べられた。
- ・中村准教授より、エナジードリンクによる急性カフェイン中毒の健康被害があるとの前提を説明に加えることと、質問票の項目6、項目7、項目4の順にすることが提案された。
- ・内海教授より、質問票の項目12-16の内容が重複し、回答者の負担となるのではないかと指摘があり、項目を一部改変することとした。

○受付番号25-007

- ・丸山教授より、SNS利用が審美意識や口腔保健行動と関連することが予想されるが、よい影響、悪影響をどのように考えているか質問があり、SNS利用により悪影響があることも想定し、SNS利用が及ぼす悪影響について評価する指標を調査項目に含めるようにと提案があった。
- ・稲垣教授より、SNS利用に伴う依存症のスクリーニングのための質問が必要と思われるので、検討するよう指摘があった。
- ・内海教授より、p.10研究責任者氏名に誤りがあるとの指摘があり、修正する旨が述べられた。
- ・中村准教授より、ルッキズムの定義と認知度について質問があった。
- ・相原准教授より、p.3原山講師が実施責任者のため実施分担者は不可能であり、削除するよう指摘があった。また、p.6倫理審査書類の提出日、p.10原山講師の職位を訂正するよう指摘があった。

○受付番号25-008

- ・丸山教授より、オープンキャンパスで実施する質問票を、なぜ倫理委員会に提出するのか質問があり、日本歯科衛生教育学会での発表を予定している旨、述べられた。

・内海教授より、健康な歯肉という表記について生徒が用語の意味、状態を正しく把握できるのか質問があり、生徒の主観的な内容を回答してもらう旨、述べられた。

○受付番号25-009

・稲垣教授より、タイトルは「アナフィラキシー対策の実態」を「アナフィラキシーの認識と対策についての実態調査」に変更する旨、指摘があった。また、「歯科衛生学会」を「日本歯科衛生学会」に訂正するよう指摘があり、修正する旨が述べられた

・丸山教授より、診療形態により実態が異なる可能性があるため、診療形態についての質問項目を追加したらどうかとの提案があり、追加する旨が述べられた。また、診療所の規模や診療状況も把握できる質問を追加するよう指摘があった。

・内海教授より、塩基性NSAIDsの認知度について質問があった。また、問13について質問があり、医療安全について教育されているかの指標である旨、説明があった。

・中村准教授より、院内研修やスタッフのアナフィラキシー対策についての認識についての項目を追加する旨の提案があった。

・相原准教授より、アナフィラキシー発症後の対応についての質問が必要ではないかとの指摘があり、本研究では発症頻度の実態を把握すること目的としているため、対応の項目については検討する旨、述べられた。

○受付番号25-010

・承認番号22-001の継続課題であり、対象校の追加がある旨述べられた。

・丸山教授より、前回の申請からの成果について質問があり、喫煙防止教育継続の成果について説明した。

また、前申請からの変更点として、加熱式タバコや水タバコに関して誤った認識が問題となっているため、喫煙防止教育の内容に追加する旨の説明があった。

○受付番号25-011

・丸山教授より、歯科衛生学科学生の喫煙率について質問があり、2024年に実施したアンケートの喫煙率が述べられ、喫煙者は数名である旨の説明があった。

○受付番号25-012 承認番号24-008の継続課題

・稲垣教授より、アンケート項目について質問があり、改変し作成した質問票である説明があった。

・IPE教育の開始時期について質問があり、5年前から実施しており、学生にもIPE教育についての認知が広まってきているとの説明があった。

・中村准教授より、アンケートの回収率について質問があり、90%以上の回収率である旨の説明があった。

以上の指摘があり、修正後承認としたが、研究代表者は直ちに、倫理委員会での指摘事項に対する返答と修正申請書を倫理委員会に提出し、倫理委員間での確認指導を受けることが義務付けられた。

閉会 午後6時8分

以上